



写真：韓国岳周辺（平成24年12月6日 撮影：久保勉氏）

# 韓国岳の樹氷

冬の贈り物、「樹氷」。木の枝が白い氷に包まれ、砂糖菓子やガラス細工のように韓国岳を飾る。

**紅葉**は山から里へと下り、えびの高原は冬枯れの木々に囲まれ、静寂を取り戻しつつあります。明け方の気温が0℃を下回るようになり、寒さが身にこたえます。

ひととき冷え込み、韓国岳に雲がかかった翌朝、冬からの贈り物を見ることが出来ます。きらきらと輝く樹氷です。木の枝が白い氷に包まれ、砂糖菓子やガラス細工のように韓国岳を飾っています。青空に映える美しさは、冬の花や山のサンゴに例えられることもあります。霧島山の最高峰韓国岳は、連山の北西に位置しており、冬の季節風により、冬の間しばしば樹氷や積雪を見ることが出来ます。韓国岳の樹氷を見に行くには準備が必要です。路面の状況によっては、タイヤチェーンを準備。手袋や帽子、防寒着などはもちろん、凍った山道を歩くためのアイゼン（靴につける登山用の爪）が必要な日もあります。

やっと登っても、樹氷は日に当たるとはかなく溶けてしまいます。だからこそ、樹氷は、人の心をひきつけるのかもしれない。  
 (文／えびのエコミュージアムセンター)

## 樹氷

樹氷は雲の中の過冷却水滴（0℃になっても凍らずにいる水）が、木の枝などにぶつかって凍り付いてできる。風がある場合には風上に向かって成長する。